

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
福祉心理学専門演習Ⅳ		必修	2	4	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
瀧口 綾 他	B305	atakiguchi	火曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>「福祉心理学専門演習Ⅰ～Ⅲ」で積み重ねてきた心理学を中心とした知識をさらに深め総括するとともに、社会人基礎力の概念と発信力や傾聴力など社会とのかかわりに必要な心理コミュニケーションに関する知識及び多様な関係性に対応できる実践力を修得することを目的とする。</p> <p><概要>社会人基礎力の技術に関する実技を修得し、その評価を踏まえさらなる技術を学修する。</p>				
学習上の助言	社会人として必要なコミュニケーション力は生涯にわたり欠くことのできない力であることを意識するとともに、授業への積極的な参加が望ましい。				
教科書	特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。				
参考書	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	心理学の基本的な専門的知識について理解し、説明することができる。			HSU(1)(2)、WP(5)	
②	社会で必要な心理コミュニケーションの知識を理解し、説明することができる。			WP(5)	
③	社会人基礎力を身につけ多様な関係性について理解し、実際的な場面で活かすことができる。			HSU(5)、WP(6)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	「福祉心理学専門演習Ⅲ」の総括及び社会人基礎力の重要性や学ぶことのメリットについて復習する。	講義・演習	「福祉心理学専門演習Ⅲ」で学んだ社会人基礎力の基本について復習する。		2
2	社会人基礎力を学ぶ(14) ～心理コミュニケーションの実践力の向上を目指す①。	講義・演習	社会人基礎力の概念を復習し、実践発表に向け発表内容について吟味する。		3
3	社会人基礎力を学ぶ(14) ～心理コミュニケーションの実践力の向上を目指す②。	講義・演習	社会人基礎力の概念を復習し、実践発表に向け発表内容について吟味する。		3
4	社会人基礎力を学ぶ(14) ～心理コミュニケーションの実践力の向上を目指す③。	講義・演習	社会人基礎力の概念を復習し、実践発表に向け発表内容について吟味する。		3
5	社会人基礎力を学ぶ(14) ～心理コミュニケーションの実践力の向上を目指す④。	演習	実践発表を行い評価を踏まえた上で、再度技術の確認及び復習を行う。		6
6	社会人基礎力を学ぶ(15) ～心理コミュニケーションの実践力の向上を目指す①。	講義・演習	社会人基礎力の概念を復習し、実践発表に向け発表内容について吟味する。		3
7	社会人基礎力を学ぶ(15) ～心理コミュニケーションの実践力の向上を目指す②。	講義・演習	社会人基礎力の概念を復習し、実践発表に向け発表内容について吟味する。		3
8	社会人基礎力を学ぶ(15) ～心理コミュニケーションの実践力の向上を目指す③。	講義・演習	社会人基礎力の概念を復習し、実践発表に向け発表内容について吟味する。		3
9	社会人基礎力を学ぶ(15) ～心理コミュニケーションの実践力の向上を目指す④。	講義・演習	社会人基礎力の概念を復習し、実践発表に向け発表内容について吟味する。		3
10	社会人基礎力を学ぶ(15) ～心理コミュニケーションの実践力の向上を目指す⑤。	演習	実践発表を行い評価を踏まえた上で、再度技術の確認及び復習を行う。		6
11	社会人基礎力を学ぶ(16) ～心理コミュニケーションの実践力の向上を目指す①。	講義・演習	社会人基礎力の概念を復習し、実践発表に向け発表内容について吟味する。		3
12	社会人基礎力を学ぶ(16) ～心理コミュニケーションの実践力の向上を目指す②。	講義・演習	社会人基礎力の概念を復習し、実践発表に向け発表内容について吟味する。		3

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

13	社会人基礎力を学ぶ(16) ～心理コミュニケーションの実践力の向上を目指す③。	講義・演習	社会人基礎力の概念を復習し、 実践発表に向け発表内容について吟味する。	3
14	社会人基礎力を学ぶ(16) ～心理コミュニケーションの実践力の向上を目指す④。	演習	実践発表を行い評価を踏まえた上で、再度技術の確認及び復習を行う。	6
15	「福祉心理学専門演習Ⅰ～Ⅳ」を振り返り、全体を考察する。	講義・演習	これまでの内容を各自で整理する。	10
試				

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	0	60	0	40	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	10	0	0	10
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	0	10
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	10	0	20	30
	取組みの姿勢・意欲	0	0	20	0	20	40
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法	
試験	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①	3 種の実技発表において正確な実技を修得しているか、意欲的に取り組んでいるかなどについて総合的に評価する。	発表後に個々に講評した上で全体講評を行う。	
	②			✓
	③			✓
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	3 種の実技発表に関する準備や発表に対し、積極的に参加しているか、技術の修得に意欲的かなどについて総合的に評価する。	毎回授業時に個々にコメントし講評及び解説や補足の講義を行う。	
	②			✓
	③			✓
	④			
	⑤			
	⑥			

備 考

学生は必ずいずれかの教員のクラスに所属すること。

担当教員：◎瀧口 綾、鈴木 真吾、高田 毅、柗木 隆寿

大学が公表している感染症対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めません。なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもあります。